

那須御用邸の多足類

誌名	Edaphologia
ISSN	03891445
著者名	篠原,圭三郎
発行元	日本土壤動物研究会
巻/号	24号
巻号補足	
掲載ページ	p. 51-53
発行年月	1981年12月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



- | | |
|---|------------|
| 10. <i>Pleurogeophilus procerus</i> (L. KOCH) | ヨコジムカデ |
| 1977, IV, 8 (1 ex.) | |
| 11. <i>Strigamia tenuiungulata</i> (TAKAKUWA) | ホソヅメベニジムカデ |
| 1977, IV, 8 (2 exs.), 1977, VIII, 25 (1 ex.) | |
| 12. <i>Prolamnonyx holstii</i> (POCOCK) | ツメジムカデ |
| 1977, VIII, 25 (2 exs.) | |
| II. DIPLOPODA | |
| 1. <i>Nedyopus</i> sp. | アカヤスデ属の1種 |
| 1977, IV, 8 (1 ♀ 1 ♂), 1977, VIII, 25 (5 exs.) | |
| 2. <i>Epanerchodus</i> sp. | オビヤスデ属の1種 |
| 1977, VIII, 25 (3 exs.) | |
| 3. <i>Epanerchodus</i> sp. | オビヤスデ属の1種 |
| 1977, IV, 8 (1 ex.), 1977 VIII, 25 (2 exs.) | |
| 4. <i>Speophilosoma</i> sp. | ホラケヤスデ属の1種 |
| 1976, XI, 10 (7 exs.), 1977, IV, 8 (1♀), 1977, VIII, 25 (1 ex.) | |
| 5. <i>Anaulaciulus quadratus</i> (TAKAKUWA) | ミホトケフジャスデ |
| 1976, XI, 10 (1 ex.), 1977 VIII, 25 (2 exs.) | |

以上のうち、採集地点の植生などが判明しているのは、1977年4月分のもののみ(全体の半数)である。個体数が少ないので正確な判断は下しがたいが、表1に示すように、4地点相互に大きな差は見出せなかった。

次にいくつか気づいたことを記しておく。

1. ほとんどの種が微小な個体であることや、ヤスデ類に幼虫が多く、大型の種が得られなかったのは採集方法(ツルグレン使用など)の故であると思われる。
2. ジムカデ類の種類組成は *Cheiletha macropalpus* ~ *C. viridicans* で、この2種でジムカデ全個体の85.7パーセントを占める。関東地方の山地性の典型的なタイプを示している。
3. 盛夏(8月)におけるジムカデ類の標本の多数は *Adolescens* によって占められていた。これは、この地方においても7、8月頃が本類の生殖期であることを示す。
4. *Speophilosoma* sp. (6令以降の幼虫を含む) が得られたことは、この地域が人為の少ない山林を示しているように思われる。
5. *Nedyopus* sp. は本属のものとしてはごく小形の未記載の種である。しかし成雄が1個体だけで記載するに不十分なのは残念で、今後に期待したい。

表1 那須御用邸内の採集地点別の種と個体数

種 名	採集地点 植 生	①	②	③	④
		移植地北側境	本邸御内庭下の湿地面	附属邸東門～東林道入口	東小深堀道164号地点
		アカマツ, ミズキ, アズマネザサ	コナラ, ヤマツツジ, ニシキウツギ, アカシデ, ササ	ヤマツツジ, イボタ, クヌギ, ズミ, ササ	モミ林, アズマネザサ
<i>Lithobius pach.</i>		—	—	1	—
<i>Monot. holstii</i>		—	1	1	—
<i>Monot. elegans</i>		1	—	—	—
<i>Monot. spp.</i>		—	5	5	10
<i>Cheiletha macr.</i>		7	1	3	5
<i>Cheiletha virid.</i>		—	1	1	4
<i>Geophilus sp.</i>		1	—	1	—
<i>Pleurogeo. proc.</i>		1	—	—	—
<i>Strigamita tenuiu.</i>		2	—	—	—
<i>Nedyopus sp.</i>		1	—	1	—
<i>Epanerchodus sp.</i>		1	—	—	—
<i>Speophilosoma sp.</i>		—	1	—	—
計		14	9	13	19